

令和4年度

事業報告書

＜付属明細書＞

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

目 次

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援	1
(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援	10
(3) 民生委員・児童委員の活動支援	13
(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備	14

2 住民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進	18
(2) 情報発信機能の強化	20

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援	21
(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化	23
(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実	27

4 社会福祉事業経営の支援

(1) 社会福祉事業経営の支援	30
(2) 適正なサービス評価の実施	32

5 多様な組織等との連携協働

(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組と サービス利用者の福祉増進	33
(2) 多様な組織等との連携協働の推進	40

6 指定管理施設の管理運営

(1) ふれあいランド岩手の管理運営	46
--------------------------	----

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化	48
(2) 組織強化のための取組の推進	48

8 会務の運営

(1) 理事会の開催	48
(2) 評議員会の開催	49
(3) 監事等による監査の実施	49

9 岩手県社会福祉大会

.....	50
-------	----

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援

① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催

(ア) 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：12月23日、ふれあいランド岩手、21人

内容：講演、実践報告、意見交換

(イ) コミュニティソーシャルワーク研究会

※重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業「地域づくり実践研修」に併催

＜前期＞ 期日、会場、参加者：1月26日、オンライン、50人 27日、アイーナ、31人

内容：講義、ディスカッション、グループワーク等

＜後期＞ 期日、会場、参加者：2月9日、オンライン、46人 10日、アイーナ、26人

内容：講義、取組発表、グループワーク等

イ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

〔令和4年度見守りセンター設置社協等〕28市町村社協、35センター

盛岡市、宮古市（川井）、大船渡市、花巻市（本所・石鳥谷・東和・大迫）、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市（本所・浄法寺）、八幡平市、奥州市（江刺）、雫石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町（本所・大野）、一戸町、流通センター不動産、岩手県

(イ) システム登録者数

1,323人（うち実利用者数265人）

(ウ) システム運用定例会議の開催（システム開発企業イワテシガ(株)・県社協）

開催日：4月8日、10月5日、1月11日

会場：ふれあいランド岩手

(エ) 重層的見守りにかかるICT活用研究会

期日、会場、参加者：3月14日、ふれあいランド（オンライン開催）、18社協23人

テーマ：「見守りとお元気発信の動向」、「お元気発信の新たな展開のための提案」

ウ 成年後見制度と日常生活自立支援事業の一体的な取組の推進

成年後見中核機関設置基幹社協4市社協。一体的な取組は12社協で実施。

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の養成と支え合いマップ手法の習得支援

(ア) 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会

期日、会場、参加者：前期 8月4日、5日、アイーナ、30人

後期 9月15日、16日、遠野市健康福祉の里、26人（修了者）

内容：地域共生社会政策時代の地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク、個別事例検討、CSWの視点による個別課題アセスメント、CSWの視点による問題解決方針の立案と援助システム、ロールプレイ、ヴァルネラビリティのある人の相談支援、ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性、CSWの展開と問題解決プログラム開発、日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポートネットワークの形成

(イ) 地域づくり実践研修会

期日、会場、参加者：前期 1月26日、オンライン、50人 27日、アイーナ、31人

後期 2月9日、オンライン、46人 10日、アイーナ、26人

内容：地域づくりと重層的支援体制整備事業、ディスカッション（実践から学ぶ地域づくり）、包括的支援体制整備及び地域づくり実践に向けた課題分析、住民主体による地域福祉の展開、個人ワーク・グループワーク（包括的支援体制整備及び地域づくり実践にむけた課題分析）、地域づくりを進めるための支え合いマップの活用と効果、支え合いマップを用いた地域づくりの実践、多機関で取り組む地域福祉と社会福祉協議会への期待、グループワーク（支え合いマップから見えるもの～マップ作成演習～～ご近所内の住民流をさがせ～）

イ 研修修了者のフォローアップ及び地域支援マニュアルの整備

（ア）CSW 継続研修会

上記の「地域づくり実践研修会」を本研修会に位置付けた。

（イ）地域支援マニュアルの作成

「社会福祉関係資料集」の作成

（ウ）CSW 修了者メーリングリストの普及・活用

CSW 活動に関連する各種情報をメールで情報提供した（登録者 172 人）

（エ）支え合いマップ作成支援

一戸町社会福祉協議会（一戸町地域包括ケアシステム検討委員会）

実施日：10月27日、11月24日、2月7日、3月3日

支援内容：一戸町地域包括ケアシステム検討委員会「集いの場部会」オブザーバー

（オ）地域福祉活動計画策定支援

紫波町社会福祉協議会（第2期紫波町地域福祉活動計画策定に向けた作業委員会）

実施日：7月15日、9月16日、10月14日、12月16日、1月27日

支援内容：地域福祉活動計画策定に係る助言等

③ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催（再掲）

（ア）生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：12月23日、ふれあいランド岩手、21人

内容：講演、実践報告、意見交換

（イ）コミュニティソーシャルワーク研究会

※重層的支援体制の構築に向けた人材養成事業「地域づくり実践研修」に併催

＜前期＞ 期日、会場、参加者：1月26日、オンライン、50人 27日、アイーナ、31人

内容：講義、ディスカッション、グループワーク等

＜後期＞ 期日、会場、参加者：2月9日、オンライン、46人 10日、アイーナ、26人

内容：講義、取組発表、グループワーク等

イ 役職員研修会の開催

（ア）市町村社会福祉協議会新任職員研修

＜第1回＞期日、会場、参加者、内容：4月25日、岩手県民会館、14社協31人、講義

＜第2回＞期日、会場、参加者、内容：8月19日、釜石市社協、10社協22人、講義・見学

＜第3回＞期日、会場、参加者、内容：2月13日、ふれあいランド岩手、10社協21人、講義等

（イ）中堅職員研修

期日、会場、参加者、内容：9月12日、アイーナ、10社協13人、講義・ディスカッション

- (ウ) 管理・指導職員研修
期日、会場、参加者、内容：12月5日、ふれあいランド岩手、12社協13人、講義
- (エ) 中期経営計画策定推進セミナー
期日、会場、参加者、内容：6月20日、岩手県立大学、7社協8人、講義・演習
- (オ) 地域福祉推進トップセミナー兼市町村社協経営研究会
期日、会場、参加者：3月10日、メトロポリタン盛岡／オンライン、115人
内容：基調講演、シンポジウム、
- (カ) 県内市町村社協災害対応初動チーム員研修会
期日、会場、参加者、内容：3月23日、マリオス、16社協24人、講義
- ウ 県内市町村社協職員の災害対応初動チームの編成
登録者数：33社協52人
- エ 中期経営計画策定アドバイザー派遣
 - (ア) 盛岡市社協：9月9日、10月14日、11月14日、12月14日、1月13日、2月14日
 - (イ) 大船渡市社協：9月29日
 - (ウ) 山田町社協：9月22日
 - (エ) 釜石市社協：2月21日
- オ 社会福祉法人との連携・協働の取組推進
地域福祉推進トップセミナー兼市町村社協経営研究会（再掲）
期日、会場、参加者：3月10日、メトロポリタン盛岡／オンライン、115人
内容：基調講演、シンポジウム、
- カ 市町村社協組織運営、事業推進支援
 - (ア) 岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会
期日、会場、参加者：9月8日、岩手県民会館、副会長2名、書面要望に変更。
内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（5項目）
 - (イ) 市町村社会福祉協議会会長懇談会
期日、会場、参加者：8月3日、ホテルメトロポリタン盛岡、26社協38人
内容：基調報告、懇談会
 - (ウ) 事務局長・地域福祉担当課長会議
期日、会場、参加者：7月5日、ふれあいランド岩手／オンライン、32社協56人
内容：説明、講義
 - (エ) 社協の概要、役職員名簿の作成
社協の概要：12月作成配布 役職員名簿：8月作成配布
 - (オ) 市町村社協福祉サービス実施状況調査
令和5年5月配布予定
- キ 助成事業
 - (ア) 地域福祉活動先進地視察研修参加に係る助成（新型コロナウイルス感染症拡大により中止）
 - (イ) 全国社会福祉協議会等が主催する研修会、会議、セミナーへの参加費助成
助成額：329,500円（7社協）
- ク 災害対応
令和4年県北大雨災害（令和4年8月）
 - 一戸町社協災害ボランティアセンター
応援社協：二戸市社協、軽米町社協及び県社協、ニーズ対応：26件
 - 九戸村社協災害ボランティアセンター ニーズ対応：1件（応援なし）

ケ 会務運営

(ア) 総会 <期日、会場> 3月17日、ふれあいランド岩手／オンライン

(イ) 理事会 <期日、会場> 5月13日、ふれあいランド岩手

3月2日、ふれあいランド岩手／オンライン

(ウ) 正副会長会議 <期日、会場> 7月21日、オンライン

(エ) 幹事会 <期日、会場> 4月22日、ふれあいランド岩手／オンライン

2月20日、ふれあいランド岩手／オンライン

(オ) 監査 <期日、会場> 5月13日、ふれあいランド岩手

④ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績等

市町村社協及び自立相談支援機関等と連携し、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した方への特例貸付の対応のため申請や相談が多い状況が継続し、市町村社協の協力を得て対応を行った。

○ 本則（コロナ特例貸付を除く分）の対応

(ア) 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 991 件、貸付中金額 437,545 千円（うち最終償還期限後債権数 405 件）

【令和4年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	9 件	7 件
金 額	2,078 千円	1,747 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
生活支援費	5 件	1,555 千円
住宅入居費	0 件	0 千円
一時生活再建費	2 件	192 千円
合 計	7 件	1,747 千円

(b) 償還実績

償還金は 17,081 千円、償還完了件数 50 件

(イ) 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 2,481 件、貸付中金額 602,356 千円（うち最終償還期限後債権数 1,569 件）

【令和4年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	229 件	218 件
金 額	47,580 千円	45,456 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	76 件	34,534 千円
緊急小口資金	142 件	10,922 千円
生活復興支援資金	-	-
合 計	218 件	45,456 千円

(b) 償還実績

償還金 63,710 千円、償還完了件数 242 件

(ウ) 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 7,412 件、貸付中金額 4,972,015 千円（うち最終償還期限後債権数 441 件）

【令和 4 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	282 件	276 件
金 額	246,211 千円	239,016 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
教育支援費	143 件	186,361 千円
就学支度費	133 件	52,655 千円
合 計	276 件	239,016 千円

(b) 償還実績

償還金 316,787 千円、償還完了件数 211 件

(エ) 不動産担保型生活資金

令和 4 年度の新規貸付決定はなし。貸付中債権の状況は次のとおり。

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計
一般	4 件	54,677 千円
要保護世帯向け	47 件	224,960 千円
合 計	51 件	279,637 千円

(オ) 離職者支援資金貸付事業(平成 12 年度創設／平成 21 年 9 月廃止)

年度末の債権中件数 19 件、貸付中金額 10,491 千円（うち最終償還期限後債権数 19 件、償還金 666 千円、償還完了件数 2 件）

(カ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成 21 年度創設)

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 7 件、貸付中金額 378 千円（うち最終償還期限後債権数 7 件）

【令和 4 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	1 件	1 件
金 額	100 千円	100 千円

(b) 償還実績

償還金 109 千円、償還完了件数 1 件

○ コロナ特例貸付分（緊急小口資金、総合支援資金）の対応

（ア）コロナ特例貸付の申請・決定件数及び貸付実績

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により収入が減少した世帯を対象に生活福祉資金貸付制度における特例措置（緊急小口資金、総合支援資金）が設けられ、令和2年3月25日～令和4年9月末まで申請受付・対応を行った（10回にわたる受付期間の延長）。

【コロナ特例貸付の申請・決定状況】（令和2年3月25日～令和4年9月末の累計）

資金種	申請件数（金額）	決定件数（金額）
緊急小口資金	6,540 件 (1,178,403 千円)	6,410 件 (1,154,633 千円)
総合支援資金	3,985 件 (2,382,643 千円)	3,944 件 (2,358,353 千円)
合 計	10,525 件 (3,561,046 千円)	10,354 件 (3,512,986 千円)

※上記件数には総合支援資金の延長貸付の件数（751 件）は含まれていない（金額は含む）。

【コロナ特例貸付の貸付実績（債権数・送金実績）】

※上記貸付決定件数に総合支援資金の延長貸付の件数（751 件）を加えた件数となるもの。

※送金辞退分（総合支援資金）を除き、実際に貸付（送金）を行った金額となるもの。

資金種	件 数	金 額
緊急小口資金	6,410 件	1,154,633 千円
総合支援資金	4,695 件	2,356,213 千円
合 計	11,105 件	3,510,846 千円

（イ）コロナ特例貸付の償還免除

コロナ特例貸付の対応では、国の示す償還免除要件に該当する場合には償還免除できる取扱いとなっている。令和4年度においては、住民税非課税の償還免除（令和4年度が判定年度となる借受人）の案内及びその他の償還免除要件（生活保護受給、障害要件、死亡等）を借受人へ周知し、申請受付及び償還免除の決定処理を行った。

【コロナ特例貸付償還免除決定状況】（令和5年3月末時点）

資金種	決定件数（金額） (A)	対象債権数 (B)	償還免除割合 (A) / (B)
緊急小口資金	2,192 件 (393,692,880 円)	5,924 件	37.0%
総合支援資金 (初回総合)	1,122 件 (564,131,380 円)	2,601 件	43.1%
合 計	3,314 件 (957,824,260 円)	8,525 件	38.9%

※上記は令和5年1月以降償還開始となる「緊急小口資金」「総合支援資金（初回）」となるもの。

※上記は、住民税非課税、生活保護受給、障害要件該当、死亡、自己破産等の要件による償還免除の合計件数・金額となるもの。

（ウ）コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援

償還免除の要件に該当しない借受人は令和5年1月から順次償還開始となっている。コロナ禍の継続や物価高騰等、厳しい社会・経済状況が続く中、引き続き生活に困窮する借受人へのフォ

ローアップ支援を自立相談支援機関等と連携して行うことが求められ取組みを行った。

【償還猶予・少額返済の決定状況】（令和5年3月末時点）

資金種	償還猶予	少額返済
緊急小口資金	101 件	16 件
総合支援資金	61 件	10 件
合 計	162 件	26 件

イ その他事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

（期日）6月21日 （会場）ふれあいランド岩手 （参加者）23人

（内容）制度説明及び相談支援の知識・技術向上を目的とする実践発表等

b 現任者研修（事務説明会）

（期日）2月24日 ※オンライン開催 （参加者）52人

（内容）特例貸付の状況及び特例貸付借受人へのフォローアップ支援に係る説明

(イ) 償還指導の実施

10市町村社協で実施（延べ11日）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置（市町村社協）

13市町村社協17.5人

(エ) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

本委員会1回（12月21日）、小委員会2回（9月、3月）

(オ) 県民への広報活動

本会のホームページや広報紙で制度周知を行ったほか、各市町村社協において住民への周知を行った。また、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配付した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配付した。

⑤ 福祉人材確保等貸付事業 [福祉経営支援部]

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業（22ページ参照）

イ 保育士修学資金貸付等事業（22ページ参照）

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親へ訓練資金を貸し付け、資格取得を促進するとともに、自立に向けて意欲的なひとり親家庭の親へ住宅支援資金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和4年度	
	貸付数	貸付金額
入学準備金	6人	2,902千円
就職準備金	3人	600千円
住宅支援資金	0人	—
計	9人	3,502千円

(イ) 貸付状況（令和5年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
23件	13件	4件	0件	2件	42件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和4年度		
	貸付件数	貸付金額	実人数
生活支援費	4 件	7,800 千円	家賃+生活+資格 1 人、 家賃+生活 3 人、家賃+資格 1 人 資格のみ 3 人
家賃支援費	5 件	6,442 千円	
資格取得支援費	5 件	1,141 千円	
計	14 件	15,383 千円	8 人

(イ) 貸付状況（令和5年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
29 人	16 人	2 人	4 人	1 人	52 件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

⑥ IWATE あんしんサポート事業 [福祉経営支援部]

ア 組織の状況

参画法人：90 法人

あんしんサポート相談員：297 人

イ 活動状況

- (ア) 生活困窮世帯等への支援 138 件 4,373,848 円
- (イ) 中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 2 法人、体験者数 3 人
- (ウ) 子どもの居場所「フリースペース」の実施 0 法人、利用者数 0 人

ウ 研修の実施

(ア) あんしんサポート相談員養成研修

<第1回> 期日、会場、参加者：6月28日、オンライン開催、36人

<第2回> 期日、会場、参加者：1月30日、オンライン開催、11人

(イ) 生活困窮者支援研修会

期日、会場、参加者：12月22日、マリオス、22人

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議（情報交換会）

沿岸ブロック：12月13日、オンライン開催、20人

県南ブロック：11月18日、オンライン開催、10人

オ 会務の運営

(ア) IWATE・あんしんサポート事業運営委員会

新型コロナウイルス感染症の影響もあり未開催

(イ) IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

新型コロナウイルス感染症の影響もあり未開催

⑦ 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業 [地域福祉企画部]

ア 相談件数等

新規相談 174 件

自立プラン作成	42 件
家計再生プラン作成	11 件
就労・増収率	92%

イ 支援調整会議の開催

会場：県央 5 町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等

内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、ハローワーク、社会福祉法人、弁護士、町社協、県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：雫石町 4 月（書面開催）、6 月 2 日、1 月 18 日

葛巻町 9 月（書面）、2 月 16 日、3 月（書面）

岩手町 6 月 30 日、10 月（書面）、1 月 30 日、3 月 16 日

紫波町 4 月（書面）、5 月 16 日、6 月 20 日、7 月 19 日、9 月 20 日、10 月 17 日、11 月（書面）、12 月 19 日、1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 20 日

矢巾町 4 月（書面）、5 月 17 日、6 月 7 日、7 月 5 日、10 月 4 日、11 月 8 日、12 月（書面）、1 月 17 日、2 月 7 日、3 月 7 日

ウ その他

支援調整会議と併せて開催された会議

- ・矢巾町自殺予防ネットワーク会議
- ・紫波町自殺予防ネットワーク会議

⑧ ひとり親家庭等総合支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 岩手県ひとり親家庭等サポートネットワーク会議の開催

地域におけるひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するネットワークを構築するため、関係団体等の代表者によるネットワーク会議を開催した。また、本会議構成団体によるメーリングリストを作成し、ひとり親支援に関連する情報共有体制を構築した。

第 1 回

期日、会場：9 月 20 日、都南公民館

内容：ひとり親家庭等からの相談等の現状と課題共有、支援者向け研修の内容について、ひとり親家庭等サポートネットワークメーリングリストについて

第 2 回

期日、会場：3 月 22 日、いわて県民情報交流センターアイーナ

内容：令和 4 年度相談等実績報告、地域における連携体制の構築について、支援者向け研修の実施について、各機関におけるひとり親家庭支援の状況及び制度について

イ 地域における連携体制の構築支援

広域振興局保健福祉環境部等（9 圏域）において設置する「ひとり親家庭等サポート地域ネットワーク会議」の運営支援及び会議への出席を行った。

期日、圏域：4 月 26 日（気仙地域）、7 月 15 日（二戸地域）、10 月（宮古地域）※書面、12 月 22 日（盛岡地域）※WEB、2 月 8 日（釜石地域）

ウ 支援者研修の実施

地域でひとり親家庭等の支援に携わる支援者の対応力向上のため、次のとおり研修を実施した。

（ア）民生委員・児童委員対象

内容「ひとり親家庭支援の現状」※資料提供（1 月～2 月）

圏域：各圏域（9 圏域）の広域振興局民生・児童委員担当課を通して配架

（イ）支援者対象

期日、会場：1 月 23 日（盛岡地域）※盛岡地域ネットワーク会議共催

2 月 24 日（県南地域）、1 月 19 日（県北地域）※二戸地域ネットワーク会議共催

2 月 20 日（沿岸地域）※宮古地域ネットワーク会議共催

内容：「教育と福祉をつなぐ～スクールソーシャルワーカーの役割～」

エ ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応

（ア）ひとり親家庭等やその支援者を支援するため、ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応を次のとおり行った。

相談対応件数：56 件（延べ件数 211 件）

（イ）ひとり親家庭等支援施策ガイドブックを用いた情報発信

ホームページにて継続発信

オ 家計相談・生活支援個別相談

ひとり親家庭等の家計管理に関する課題解決のため、ファイナンシャルプランナー等の資格を有する者による個別相談を行った。

相談実績：4 回（3 人）

（２）住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

県内 12 基幹社協に専門員 22.5 人、生活支援員 191 人を配置し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の不十分な方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和 5 年 3 月 31 日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
328 人	293 人	367 人	23 人	1,011 人 (うち生保 367 人)

ア 契約締結審査会の開催

回数、会場、参加者：毎月 1 回、岩手県民生活センター、委員 6 人及び基幹社協専門員等

イ 専門員情報交換会

期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催（8 月、11 月を除く）、岩手県民生活センター

参加対象者：専門員等 25 人

テーマ：業務に当たっての留意事項、各地域における支援の実施状況の共有等

ウ 定期業務点検

期間、対象：7 月～12 月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）

点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等

エ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも 110 番、県高齢者権利擁護ネットワーク会議、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 成年後見推進支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 成年後見コーディネーターの取組（5 基幹社協に 0.5 人ずつ配置）

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績

支援者数：21 人

【内訳】利用開始 6 人（日常生活自立支援事業利用者）、他機関支援引継ぎ 1 人、取下げ 14 人

- イ 全県を対象とした岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議の開催への協力
期日、会場、参加者：① 6月13日、ふれあいランド岩手、委員20人、傍聴者82人
② 12月15日、プラザおでつて、委員21人、傍聴者57人
※いずれも集合とオンラインの併用

ウ 研修会

(ア) 新任専門員研修会

期日、会場、参加者：4月28日、ふれあいランド岩手、13人
内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（専門員活動の実際）

(イ) 新任生活支援員研修会

期日、会場、参加者：5月31日、ふれあいランド岩手、30人 ※集合とオンラインの併用
内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（利用者との関わり方のポイント）、実践報告

(ウ) 専門員研修会

期日、会場、参加者：9月2日、アートホテル盛岡、24人
内容：講義（成年後見制度の概要、法テラスの役割、意思決定支援と多機関連携）、情報交換

(エ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：10月6日、岩手教育会館、110人 ※集合とオンラインの併用
内容：説明（事業概況）、講義及び事例検討（高齢者・障がい者の消費者被害と対策、利用者に関わる上でのポイント、利用者支援の振り返り）

(オ) 成年後見制度利用促進担当者研修・市町村長申立て支援講座

期日、会場、参加者：9月30日、岩手教育会館、36人
内容：講義（成年後見制度利用促進の概要）、実践報告（市町村長申立ての実務、成年後見制度利用促進の取組）、情報交換

(カ) 成年後見制度普及・権利擁護体制整備研修

期日、会場、参加者：2月16日、(株)リードコナン会議室、170人 ※オンライン開催
内容：報告（第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要）、講義（成年後見制度と意思決定支援）、グループワーク（日頃の意思決定支援の取組）

③ 障がい者不利益取扱い解消支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業

相談実績：1件（電話受付1件）

イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業

期日、開催方法、参加者：1月11日～31日、講義動画のオンデマンド配信、26人
内容：行政説明「本県における相談対応の概況について」、講義「相談対応の流れについて」

④ 福祉サービス苦情解決事業 [\[福祉サービス運営適正化委員会\]](#)

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員6人 計7回開催
内容：苦情案件対応協議、苦情受付状況報告、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 福祉サービスの苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：7月11日、いわて県民情報交流センター、220人
内容：苦情解決に役立つ法律知識及び困難な苦情とその対応に関する講演

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催

開催回数・参加者数：計 11 回（集合 11）、169 人（県内各地で開催）

内容：苦情解決の仕組みの説明。苦情事例説明、苦情受付体制・苦情対応等に関する情報交換

エ 福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）の開催

期日、会場、参加者：10 月 17 日、いわて県民情報交流センター、19 人

11 月 4 日、いわて県民情報交流センター、19 人

内容：事業所における苦情事例検討及び講師による助言

オ 事業所巡回訪問の実施

実施事業所：40 か所（オンライン 11 回）

内容：苦情解決体制整備状況の確認、改善に向けた助言、情報提供等

カ 事業所研修会等に対する職員派遣

派遣回数・参加者数：計 6 回、185 人

キ 苦情・相談の受付の概要

苦情相談 41 件及び一般相談（苦情解決の調整に至らなかったもの）80 件、計 121 件

（ア）受付別件数

受付方法						合計	
来所		書面		電話			
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般
2	2	4	7	35	71	41	80

（イ）苦情内容別件数

苦情内容	件数	福祉サービスの種類	件数		対応・解決の状況	件数
			苦情相談	一般相談		
①職員の接遇	18	①高齢者	8	20	①当事者間の話し合い・推奨	7
②サービスの質や量	11	②障がい者	21	45	②専門機関紹介・伝達	2
③説明・情報提供	4	③児童	7	5	③助言・申し入れ	29
④利用料	2	④その他	5	10	④事情調査	1
⑤被害・損害	2				⑤あつせん	0
⑥権利侵害	3				⑥知事通知	1
⑦その他	1				⑦その他	1
合計	41	合計	41	80	合計	41

ク 広報啓発

広報紙パートナー9月号に苦情解決セミナー講演を掲載。ホームページに運営適正化委員会の役割、事業報告書、アンケート調査報告書等を掲載。苦情体制ポスターを作成及び配布した。

ケ 調査研究

苦情解決事業アンケート調査を 594 事業所に実施、報告書を取りまとめた。

苦情解決セミナー報告書を取りまとめた。

コ 運営監視小委員会の開催及び現地調査の実施

委員数・開催回数：委員 8 人 開催 5 回（対象：県社協及び 5 基幹社協）、現地調査 7 回

内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援事業の運営を監視し、必要に応じて助言・勧告、現地調査を行う。

サ 運営適正化委員会全体会の開催

委員数・開催回数：委員 14 人 開催 2 回

内容：事業報告・事業計画の承認、委員長の互選等

シ 委員選考委員会の開催

委員数・開催回数：委員 6 人 開催 2 回（うち書面議決 1 回）

内容：運営適正化委員の欠員補充選考、運営適正化委員会委員の任期満了に伴う委員選考

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し、民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：9月27日、WEB＋マリオス、185人

内容：講義「児童を取り巻く状況と主任児童委員の取組への期待」

グループ情報交換「主任児童委員活動上の課題と対応」

(イ) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

期日、会場、参加者：1月19日～20日、ホテル千秋閣＋WEB、216人

内容：講演「民生委員・児童委員活動を支える民児協機能の強化」及び活動事例報告

(ウ) 新任民生委員児童委員研修会

新任民生委員児童委員向けオリエンテーションDVDの作成・配布

DVD視聴及び各市町村民児協での補足説明等地域の実情に応じた研修の実施

「2022年版新任民生委員・児童委員の活動の手引き」（全民児連発行）の配布

(エ) 民生委員等を対象とした相談事業研修会

期日、会場、参加者：7月8日、アイーナ、78人

内容：講義「事例を通して支えあう～仲間と学ぶ事例学習～」

事例学習「私に対応した相談事例」

参加者から提出のあった事例に講師のコメントを加え、「私に対応した相談事例集」を発行（3,910部）、配布

(カ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：11月17日、サンセール盛岡、18人

懇談内容：民生委員・児童委員の欠員解消、負担軽減、PR活動の充実等

(キ) 岩手県民生委員児童委員協議会役員による県知事表敬訪問

期日、会場、参加者：11月17日、岩手県庁県議会棟、11人

(ク) 令和4年度市町村民児協事務局担当者連絡会

期日、会場、参加者：5月26日、ふれあいランド岩手、63人

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和3～4年度

指定民児協：希望なし

(イ) 県民児協指定

指定期間：令和4～5年度

指定民児協：盛岡市河南地区、花巻市湯口地区

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災した際のほか、配偶者が死亡した際、弔慰金や見舞金を給付するとともに、一斉改選退任者及び任期途中退任者へ慰労金の給付を行った。

給付件数、金額：1,179件、5,871,000円

内訳： 公務傷害

6件

200,000円

一般死亡	13 件	390,000 円
配偶者死亡	15 件	205,000 円
一般傷病（2 か月未満）	6 件	48,000 円
一般傷病（2 か月以上）	20 件	200,000 円
退任慰労（在任 9 年未満）	614 件	1,812,000 円
退任慰労（在任 9 年以上 15 年未満）	341 件	1,705,000 円
退任慰労（在任 15 年以上）	173 件	1,211,000 円
災害見舞金（全壊・大規模半壊）	1 件	100,000 円

エ 助成事業

（ア）広域民生児童委員研修等事業費の助成

研修事業の実施を支援するため、10 広域圏での助成実施案内を行い、うち 9 広域圏から助成申請を受け、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した。

（イ）市町村民生児童委員 OB 会への助成

市町村民生児童委員 OB 会組織・活動状況調査により活動を確認した 8 市町の 12 組織に対し、助成金を交付した。

オ 東日本大震災に関連する対応（県補助事業）

（ア）沿岸地区民児協訪問事業

4 市町の地区民児協会長及び副会長を対象に、正副会長が訪問し意見交換を実施。報告書 400 部を発行。

対象市町	期日	会場	参加者数
宮古市	11 月 2 日	宮古市民総合体育館	22 人
大船渡市	11 月 4 日	大船渡市総合福祉センター	18 人
大槌町	11 月 18 日	ホテル紫苑	18 人
釜石市	2 月 14 日	小佐野コミュニティ会館	24 人

カ 広報・啓発活動

（ア）いわて県民児協だより 3,980 部の発行

（イ）民生委員・児童委員活動 PR 用のリーフレット及びのぼり旗の作成・配布

（４）東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

① 東日本大震災被災者生活支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 62 人（3 月末、うち県社協 3 人）

活動対象世帯 2,120 世帯

支援延べ回数 39,983 回

イ 研修会の開催

（ア）新任研修（2 回）

期日、会場、参加者：第 1 回 4 月 25 日、オンライン、22 人

第 2 回 6 月 20 日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、32 人

内容：対人援助技術、アセスメントや支え合いマップ作成の基礎について演習を交えて学び、生活支援相談員に必要な基本的知識を身につける。

（イ）ファシリテーション研修（全 3 回コース）

期日、会場、参加者：第 1 回 5 月 25 日、いわて県民情報交流センター（アイーナ）、21 人

第 2 回 6 月 10 日、都南公民館（キャラホール）、20 人

第 3 回 7 月 1 日、都南公民館（キャラホール）、20 人

内容：講義と演習により、住民の合意形成や主体形成を促すための進行役の技術を学ぶ。

(ウ) 現地事例検討会 6回

期日、会場、参加者：8月3日、陸前高田市コミュニティホール、18人

8月4日、オンライン（宮古市）、30人

9月26日、釜石PIT、13人

9月27日、山田中央公民館、26人

11月14日、大船渡市Y・Sセンター、17人

11月15日、大槌町中央公民館、16人

内容：沿岸6市町ごとに、社協他部署、行政、関係機関等の多職種・多機関で事例を検討することで、重層的な支援体制につなげていくことを目的に実施。

(エ) 支え合いマップ 取組勉強会（全2回コース）

期日、会場、参加者：第1回 7月11日、大船渡市民文化会館（リアスホール）、29人

第2回 10月4日、山田町中央公民館、23人

内容：講義及びグループワークにより、生活支援相談員がすすめる支え合いマップのポイント、実践で生かせる工夫やコツを学ぶ。

(オ) ご近所福祉オンラインサロン（支え合いマップ勉強会／オンライン開催）

期日、会場、参加者：3月1日、オンライン、45人

内容：講義及び取組事例を通し、支え合いマップを活用しながら、住民と一緒に「ご近所福祉」に取り組むためのポイントを学ぶ。

(カ) 地域をつなぐコーディネート研修（全2回コース）

期日、会場、参加者：第1回 9月2日、岩手大学釜石キャンパス、22人

第2回 12月5日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、21人

内容：講義及び演習により、地域支援に関わる生活支援相談員が住民ニーズに基づいて行うコーディネートに必要な視点と手法を学ぶ。

(キ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：10月31日～11月1日 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

10月31日 43人、11月1日 30人

内容：講義、事例検討及び情報交換により活動の振り返りや今後の方向性の共有・検討を行う。

ウ 生活支援相談員担当課長等情報共有会・会議の開催

期日、会場、参加者：情報共有会 7月13日、カリタス釜石、13人

会議 2月14日、岩手県民会館、16人

内容：今後の見通し、方向性についての意見交換、県地域福祉課及び県社協から「第2期復興・創生期間における被災者支援の方向性」の説明。

エ 情報交換会の開催

(ア) リーダークラスの生活支援相談員向け

期日、会場、参加者：第1回 10月22日、大船渡市防災観光交流センター（おおふなポート）、26人

第2回 1月27日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、24人

内容：情報共有、ストレスへの対処法の講義

【地域見守り支援拠点】

期日、会場、参加者：10月22日、大船渡市防災観光交流センター（おおふなポート）、27人

内容：地域見守り支援拠点の取組実施状況の情報共有

オ 令和4年度東日本大震災被災者実態調査研究の実施

被災者実態調査研究委員会（委員 10 人）

期日：7 月 19 日、10 月 25 日、12 月 15 日、2 月 21 日

内容：アセスメント基準票 3,258 件の集計・分析、調査研究報告書の作成 500 部及び本会ホームページへの掲載

カ 地域見守り支援拠点の設置

宮古市 1、大船渡市 3、釜石市 1、大槌町 1、山田町 4（出張拠点含む） 計 10 か所

キ 多職種・多機関による被災者支援

（ア）災害公営住宅等自治会継続支援への出席

計 11 回：山田町支援者ミーティング（自治会）

（イ）各種連絡会議・打合せ・マップ作成等

計 39 回：宮古市、大船渡市、花巻市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、内陸避難者支援ネットワーク会議、岩手連携復興ミーティング（県庁ミーティング）、福島県社協先進地視察対応、行政・社協意見交換等

（ウ）アドバイザーの派遣

・ 花巻市社協（8 月 22 日）

内容：支え合いマップ作成に係る事前の作戦会議での助言

・ 山田町社協（9 月 8 日）

内容：支え合いマップ取組課内研修会

ク 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4 月～3 月 計 9 回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：127 部／1 回（その他、本会ホームページに掲載）

ケ 生活支援相談員活動事例集 2022 の発行

発行月：3 月

内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、支え合いマップの取組のレポート、地域支援活動レポート、研修実績等

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：400 部

コ 現地連絡会議への出席

市町村	開催日
山田町	5 月 24 日、6 月 28 日、7 月 20 日、8 月 24 日、9 月 21 日、10 月 26 日、2 月 13 日

② 災害復興基金事業 [総務部]

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に使途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

（単位：千円）

年度	積立額	取崩額	年度末残高
～平成 22 年度	5,559	—	5,559
平成 23 年度	150,662	0	156,221
平成 24 年度	19,263	28,000	147,484
平成 25 年度	32,151	13,047	166,588
平成 26 年度	7,205	10,141	163,652
平成 27 年度	5,555	11,398	157,809
平成 28 年度	5,083	22,694	140,198

平成 29 年度	4,865	14,921	130,142
平成 30 年度	349	11,290	119,201
令和元年度	7,298	10,413	116,086
令和 2 年度	4,107	8,692	111,501
令和 3 年度	1,701	5,407	107,795
令和 4 年度	2,866	3,439	107,222
計	246,664	139,442	

イ 令和 4 年度事業執行状況

(単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	1	138	—	138
事業費	—	—	3,301	3,301
計	1	138	3,301	3,439

③ ボランティア・市民活動センター事業（災害発生時） [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 東日本大震災等からの復興支援

ホームページ及び Facebook を活用した災害支援活動情報の発信を行った。

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（県総合防災訓練への参画）

参加機関打合せ：5 月 27 日、7 月 28 日、10 月 3 日

訓練実施日：10 月 29 日（大船渡市）

ウ 災害ボランティアセンター設置運営研修等支援

（ア）広域市町村ネットワーク連絡会議の開催

平時からの関係機関、関係者の「顔の見える関係」の構築を目指し、県内 10 広域で会議の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、9 広域で開催、1 広域で中止となった。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
県央	7 月 26 日	盛岡市	29 人
花巻・遠野	11 月 30 日	遠野市	25 人
北上	7 月 27 日	北上市	20 人
胆江	9 月 12 日	奥州市	23 人
久慈	9 月 6 日	洋野町	30 人
宮古	11 月 5 日	宮古市	28 人
釜石	9 月 30 日	大槌町	26 人
気仙	10 月 4 日	大船渡市	22 人
二戸	9 月 29 日	二戸市	27 人

（イ）災害ボランティアセンター設置運営研修の実施

災害時において、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう、県内 10 広域で研修の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、9 広域で実施、1 広域で中止となった。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
県央	8 月 27 日	盛岡市	76 人
花巻・遠野	11 月 30 日	遠野市	70 人
北上	9 月 26 日	北上市	36 人
胆江	10 月 25 日	奥州市	62 人
久慈	10 月 7 日	洋野町	27 人
宮古	11 月 5 日	宮古市	23 人

釜石	10月14日	大槌町	26人
気仙	10月29日	大船渡市	45人
二戸	11月1日	二戸市	28人

④ 災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 事務局体制の強化

- ・マニュアルに基づく連絡訓練（9月8日、10月14日、11月25日）
- ・局内における派遣初動訓練（9月8日、10月14日、11月25日）

イ チーム員の養成（県委託業務）

新規募集：登録者10人（令和5年3月時点登録者283人）

登録研修：10月14日、15日、10人修了

スキルアップ研修1：9月8日～10日、9人修了

スキルアップ研修2：11月25日～27日、9人修了

県及び市町村防災訓練参加等訓練の実施：10月29日

ウ チーム検討部会の開催（県事業） 県による実施なし

エ チーム員連絡協議会の開催（県事業） 県による実施なし

オ 災害派遣医療チーム（DMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、保健師チームとの合同研修の実施：10月29日

カ 社会福祉施設における事業継続計画（BCP）の策定に係る研修の実施：7月27日

キ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応

秋田県 DWAT 登録研修、岩手災害医療ロジスティクス研修

⑤ 社会福祉施設等応援職員派遣調整事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

介護施設及び障がい福祉施設で働く職員等が新型コロナウイルス感染症に感染等することにより、職員が不足する施設等に他の施設から応援職員を派遣する。（感染者発生施設へ職員を派遣し職員が不足する施設への応援として実施）

ア 応援派遣登録施設・人数

介護施設 37施設、69人

障がい福祉施設 23施設、35人

イ 派遣要請

派遣実績なし

2 住民の福祉活動の振興

（1）ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

① ボランティア・市民活動センター事業（通常時） [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 研修会の開催

（ア）ボランティア活動研究会の開催

期日、会場、参加者：7月15日、紫波町総合福祉センター、19人（市町村社協職員等）

内容：実践報告「紫波町社会福祉協議会の取組」

情報交換「地域交流、食糧支援、SNS活用の取組の推進について」

（イ）ボランティアコーディネーター研修会の開催

期日、会場、参加者：3月23日、マリオス及びオンライン、9人（市町村社協職員等）

内容：「災害ボランティアコーディネート」をテーマに、講義及び演習を実施。

(ウ) 暮らし支えるボランティアの集い

期日、会場、参加者：3月16日、オンライン開催、72人（ボランティア団体、行政、市町村社協職員等）

内容：説明「事前アンケート結果説明」

分科会「テーマ別情報交換」

全体会「まとめ」

(エ) 地域で育む福祉教育推進セミナー

期日、会場、参加者：2月24日、ふれあいランド岩手及びオンライン、27人（市町村社協職員、教育機関職員等）

内容：シンポジウム「「地域福祉主体形成に係る福祉教育の展開方法を考える」」

事例発表1「話し合いを基にした地域づくりと多様な主体との連携・協働について」

事例発表2「「地域の力でよみがえった畑〜『ヒロさんの畑』の取組紹介〜」

イ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

(ア) 「2022 ボランティア体験 in いわて」の実施

期間：6月1日～1月31日

プログラム提供施設数、プログラム数：18団体、23プログラム

参加者総数：825人

主な体験内容：施設利用者との交流や、介助等の手伝い、施設行事への参加、高齢者宅の清掃・見守り活動、スノーバスターズ

(イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等

内容：ボランティア基礎講座、キャップハンディ体験等

実績：5か所、413人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

県内工業高校6校の生徒が、破損等で使われなくなった車いすを修理・整備し、32台の車いすの整備が完了した。

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

6月から11月にかけて、県内3カ所で開催し、活動参加工業高校5校を対象に、寄贈先の状況に関する講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業を実施した。参加者は34人。

b 活動助成

1校当たり1万円、計3万円を助成（2校は辞退）

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和4年度実績（累計）：141団体、35個人

(エ) 21世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

12月から3月に、各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を8市町村で実施した。

・活動助成

総額225,000円を8市町村10スノーバスターズの前年度活動実績に応じて助成

ウ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：6月24日、オンライン開催、43人

内容：令和3年度事業報告、令和4年度事業計画案、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

期間、訪問実績：6月～7月、2か所

内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、活動状況等の情報収集及び当該市町村
社協ボランティアセンター支援

エ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施6件

助成金・寄付金 総額 20,128 円

福祉巡回車1台、車いす19台、使用済み切手 5.90 kg + 10,450 枚

書き損じハガキ 200 枚

オ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっぱりボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページ Facebook」

災害ボランティアに関する活動情報等発信した。

(ウ) 「いわての NPO・ボランティア活動情報誌 PIN - パイン」

年3回、8・11・3月に、ボランティアに関する基礎知識、ボランティア体験 in いわて、ボラン
ティア保険に関する寄稿を行った。

カ 地域で育む福祉教育推進事業の実施

児童・生徒と学校、地域住民が地域福祉課題に着目し、共に課題解決に向けた取組を進めること
により福祉意識を高める活動のさらなる推進を目的に、市町村社協が取り組む活動費用の一部助成
を実施。

1 町社協が取り組む「高齢者と中学生による地域伝承活動」に 50,000 円を助成

キ その他

(ア) 企画委員会

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：3月1日、オンライン開催、12人

内容：令和4年度県社協ボランティア・市民活動センター事業の実施状況について
令和5年度県社協ボランティア・市民活動センター事業の企画内容について
令和4年度地域で育む福祉教育推進事業助成先の選定について

(イ) 運営委員会

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：11月22日、オンライン開催、10人

内容：令和4年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業実施状況について
令和4年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業の企画について

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：3月30日、オンライン開催、10人

内容：令和4年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業実施状況について
令和5年度県社協ボランティア・市民活動センター事業の進め方について

(2) 情報発信機能の強化

① 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業 [総務部]

本会の機関紙「パートナー」を年6回（毎号 5,000 部）発行し、社会福祉に関する情報や本会をは
じめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、
常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：15.9 万回）

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [\[福祉人材研修部\]](#)

福祉サービスを担う人材の確保や育成、社会福祉・介護従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、経営者及び社会福祉従事者を対象とした研修を実施した。

ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座

期日、会場、参加者：第1回12月10日・第2回1月26日、オンライン開催、計82事業所

内容：仕組みでマネジメントする現場のリスク、組織的な取組みの進め方、具体的事例から学ぶリスクマネジメント（高齢分野・障がい分野・保育分野）に係る講義及び演習

イ 社会福祉従事者新任職員研修会

期日、会場、参加者：7月5日・6日、ツガワ未来館アピオ、115人

内容：職場生活の基本、福祉倫理と運営管理、キャリアデザインとセルフマネジメント、メンバーシップと課題解決、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習

ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会

期日、会場、参加者：10月27日・28日、ツガワ未来館アピオ、64人

内容：業務課題の解決と実践研究、リーダーシップとメンバーシップ、福祉の専門性とキャリア形成、リーダー職員の役割とコーチング、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習

エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会

期日、会場、参加者：8月19日・20日、ふれあいランド岩手、21人

内容：試験に向けた介護支援分野のポイント、保健医療分野のポイントに係る講義

② 介護職員等医療的ケア研修事業 [\[福祉人材研修部\]](#)

ア 令和4年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習

期日、会場：【講義・演習】8月23日、9月5日、6日、アイーナ

【指導演習】12月7日、8日、アイーナ

参加者（修了者）：34人（22人）

内容：介護職員等による医療的ケアの実施、研修カリキュラム、喀痰吸引のケア実施、経管栄養のケア実施、安全管理体制とリスクマネジメント等の講義及び演習

イ 令和4年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場：【講義】7月6日、7日、7月12日～14日、8月17日～19日、8月24日、25日、8月28日、29日、8月30日～9月1日、9月2日、9月5日、6日、9月12日～14日、9月27日、10月10日、11日、アイーナ（一部：オンラインで実施）

【演習】11月22日～24日、12月6日～8日、アイーナ

【実地研修】12月10日～2月10日、12月21日～2月21日、所在する施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：162人（120人）

（イ）介護福祉士養成校等修了者であって、医療的ケア研修基本研修：講義及び演習の修了者を対象とした技術確認演習及び実地研修

期日、会場：【実地研修】9月15日～11月15日、施設・事業所又は居宅

※ 9月5日～6日に、実地研修に向けた技術確認演習を実施

参加者（修了者）：119人（109人）

ウ 令和4年度介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

期日、会場：【講義】8月11日、12日、ふれあいランド岩手

【実地研修】9月15日～11月15日、施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：11人（修了者10人）

③ 福祉人材確保等貸付事業 [福祉経営支援部]

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

（ア）新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和4年度		備考
	新規貸付数	貸付金額	
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	52人	72,189千円	
介護福祉士県内養成施設	39人	65,650千円	
県内養成施設	38人	62,970千円	
県外養成施設	1人	2,680千円	東北福祉大学1人
社会福祉士養成施設	13人	6,539千円	うち県外養成施設2人
介護福祉士実務者研修受講資金	43人	6,128千円	
再就職準備金	4人	1,293千円	
福祉系高校修学資金	15人	4,880千円	※令和4年度開始
介護分野・障害福祉分野就職支援金	1人	190千円	※令和4年度開始
合 計	115人	84,680千円	

（イ）貸付状況（令和5年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	232人	121人	8人	302人	30人	63人	756人
介護福祉士実務者研修受講資金	139人	49人	1人	128人	10人	32人	359人
再就職準備金	9人	—	—	29人	—	1人	39人
介護分野・障害福祉分野就職支援金	1人	—	—	—	—	—	1人
福祉系高校修学資金	—	15人	—	—	—	—	15人

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県における保育士資格の新規取得者の確保、保育士の離職防止、潜在保育士の再就職支援を図るため、指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対する修学資金のほか、潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用、未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の貸付けを実施。

（ア）新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和4年度	
	貸付数	貸付金額
保育士修学資金	29人	46,220千円
県内養成施設	26人	42,400千円
県外養成施設	3人	3,820千円
就職準備金	1人	400千円

未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	—
合 計	30 人	46,620 千円

(イ) 貸付状況（令和 5 年 3 月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
保育士修学資金	69 人	62 人	—	2 人	9 人	4 人	146 人
就職準備金	3 人	—	—	5 人	—	—	8 人
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	0 人	—	1 人	0 人	0 人	1 人

ウ ヒトリ親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業（7 ページ参照）

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業（8 ページ参照）

(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化

① 福祉人材センター運営事業 [\[福祉人材研修部\]](#)

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあつせんを中心に事業を行った。求職者に対し、就職や資格取得に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第 2 土曜日を相談日として開所し、利用促進を図った。また、社会福祉法の一部改正による離職した介護福祉士等の届出制度は、登録者の増を目的に各種の広報周知に努めた。

【求人・求職の実績】

年度	新規求人数 (人)	新規求職数 (人)	採用数 (件)	求人求職相談数 (件)
令和 4 年度	4,281	964	141	6,516
令和 3 年度	4,479	1,005	182	6,961
令和 2 年度	4,839	1,012	172	7,085
令和元年度	4,769	1,046	177	8,166
平成 30 年度	4,833	1,064	168	7,620

イ 各種会議・研修会への参加

(ア) 業務・法令研修会

期日、会場：6 月 14 日、オンライン開催

(イ) 福祉人材情報システム研修会

期日、会場：4 月 19 日～20 日、オンライン開催

(ウ) 福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：9 月 22 日、オンライン開催

(エ) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議（岩手県）

期日、会場：11 月 25 日、オンライン開催

(オ) 福祉人材センター・バンク基幹職員会議

期日、会場：12 月 16 日、オンライン開催

※ 上記のほか、県内の各種会議に参画した。

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

＜第 1 回＞ 期日、会場、参加者：8 月 4 日、ふれあいランド岩手、11 人

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：2月15日、ふれあいランド岩手、11人

(イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

県内3校を対象に生徒及び学生の就職状況及び人材センターへの要望等をヒアリングした。

期日、ヒアリング先：2月17日、岩手県立一戸高等学校

2月21日、岩手県立大学

2月21日、北日本医療福祉専門学校

内容：就職状況、入学者の推移、学生・生徒の就職活動の動向、就労促進や定着化に向けた今後の事業展開、岩手県福祉人材センターに対する要望

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

制度の説明及び周知を行うとともに、制度対象者の手続を行った。

・特定求職者雇用開発助成金の申請 6件

内訳：高年齢者4件、生涯現役コース（65歳以上）2件、母子家庭の母等0件

オ 広報・啓発事業

(ア) 岩手県福祉人材センターのPR

センターの周知、PRを目的に、オリジナノベルティグッズボールペン300本、人材センターリーフレット2,000部、「福祉のお仕事」Web活用リーフレット3,000部、人材センターオリジナルポスター1,800部を作成し、求職者及び求人事業所に配布した。

(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業

「介護・保育・福祉の就職相談会」等のイベント開催に当たって、情報紙悠遊（7月14日号）、Google検索エンジンでのリスティング広告ディスプレイ広告（10月19日～11月18日）を活用し、開催の周知、PR、求職者の参加募集を行った。

新規求職登録者の増加を促進するため、Yahoo!でのディスプレイ広告（広告期間：3月1日～3月27日）、人材センターチラシポスティング（実施期間：2月1日～2月7日、ポスティング数10,000部）を行った。

(ウ) 岩手県福人材センターホームページ

ホームページにより、PR動画や事業案内、求人情報、各種資料等の情報発信を随時行った。

カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として2回開催した。

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：7月30日、ホテルメトロポリタン盛岡本館、

出展事業所53、参加者81人

内容：事業所との個別面談、情報提供・個別相談

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月19日、ツガワ未来館アピオ、出展事業所136、

参加者191人

※いわて定住財団主催いわて就職マッチングフェアVと併催

内容：事業所との個別面談、情報提供・個別相談（当センターへの相談：12人）

キ 事業所訪問

社会福祉施設の人材の確保・定着に向けた取組等の把握を行い、人材確保の支援と人材センターへの求人件数増加を目的に施設訪問を実施した。

期間、訪問数：9月29日～1月30日、10か所

ク 他団体就職フェア、就職ガイダンス等への参加

・（公財）ふるさといわて定住財団（4回、うち1回は併催）

- ・日建学院（5回）
- ・ハローワーク等関係団体（47回）
- ケ 福祉人材養成校でのガイダンス・相談会の実施
福祉の雇用動向及び福祉人材センターの事業内容について説明を行った。
福祉の仕事を進路の1つの候補としていただきたいため、高等学校進路指導部会で本会が作成した福祉の仕事の説明資料の配布を依頼した。
期日、実施先：7月7日、盛岡大学
12月7日、岩手県立大学
（資料配布）11月29日、高等学校指導指導部会
- コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業（出前講座）の開催
将来福祉・介護サービスの担い手となる若年層に、福祉人材の重要性和福祉の仕事の魅力を伝え、将来の進路選択につなげることを目的に、地域の福祉施設・事業所の職員を学校に派遣し講座を行った。
実績：合計12校、12回、364人
内訳：小学校4校80人、中学校3校100人、高等学校5校184人
- サ 介護福祉士等届出制度の推進
登録者159人（年間目標40人）※保育士を含む
- シ ふくしの仕事体験事業の実施
福祉分野の就労経験がない求職者に対し、障がい・児童分野の仕事への理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所で、しごと体験事業を実施した。
実績：体験総数 延べ1人

② 介護人材マッチング支援事業 [福祉人材研修部]

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に7人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言などの事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡市（2人）、奥州市、久慈市、釜石市、宮古市、大船渡市（各1人）に計7人を配置

イ 事業実施内容 ※（ ）内は前年度実績

- （ア）各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談1,835（2,221）件、採用者数226（264）人

- （イ）福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問376（477）件、新規事業所開拓数5（5）件

新規求人開拓数 13（87）件

- （ウ）各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：596（629）件

- （エ）介護職の潜在有資格者に対する福祉業界への再就職を支援する講座

開催地：二戸、久慈、盛岡、北上、一関、宮古、釜石、大船渡

参加者：43（55）人

- （オ）介護施設見学バスツアー

開催地：県央、県北、宮古、県南

参加者：16（32）人

(カ) 小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地：盛岡（2回）、県北、県南、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加事業所 46（47）、参加者 84（120）人

(キ) 小規模事業所合同研修会

開催地：久慈、二戸、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、宮古、釜石、気仙

実施状況：27（27）回、参加事業所 165（198）、参加者 442（428）人

(ク) 介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）

開催地：久慈、盛岡（2回）、奥州、北上、宮古、釜石、大船渡

実施状況：8回（8）、参加者 41（51）人

(ケ) 介護入門的研修会

開催地：盛岡（2回）、県南、宮古

修了者：24（19）人

ウ 各種会議・研修会への参加

(ア) 福祉人材情報システム研修会

期日・会場：4月19、20日、オンライン開催

(イ) マッチング機能強化研修

期日・会場：7月19日、20日、全国社会福祉協議会

(ウ) ブロック別マッチング機能強化研修

期日、会場：2月2日、オンライン開催（主催：岩手県社会福祉協議会）

(エ) スキルアップ研修会での内部研修

期日・研修テーマ：①10月26日(水)「発達障がいとその特性について」

②2月22日(水)「アンガーマネジメント」

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数 39（58）人（平均 47.41 歳／体験日数 2.23 日）

介護の職場への就職者 23（44）人（58.9%）

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行（年3回・各1,500部）した。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [\[福祉人材研修部\]](#)

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター2人体制で、求人求職のマッチングに向けて、保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	76件	34件			110件
相談件数	560件	161件	411件	19件	1,151件

※保育士・保育所支援センターの相談支援を経て保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 令和4年度児童福祉研修事業（保育士人材確保）

(ア) 新任保育士（就業継続支援）研修会

期日、会場、参加者：9月15日、ふれあいランド岩手、58人（参集23人、オンライン35人）

(イ) 潜在保育士（再就職支援）研修会

期日、会場、参加者：9月26日、10月20日、11月24日 ふれあいランド岩手、32人

ウ 県内保育所訪問・自治体等の訪問

訪問回数：44回

エ ほいくしカフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、ほいくしカフェを開催した。

＜第1回＞ 7月26日 ふれあいランド岩手、7人

＜第2回＞ 12月6日 ふれあいランド岩手、3人 計2回 延べ10人

オ ほいくのしごと出張相談の実施

実施回数：64回（延べ64人）

カ 広報・周知

保育士・保育所支援センター及び実施事業の周知、PRのため、情報紙悠遊（6月28日号）、Google検索エンジンでのリスティング広告を2回（広告期間：11月21日～12月10日、2月17日～3月14日）、Yahoo!でのディスプレイ広告（広告期間：2月17日～3月27日）を掲載したほか、自治体広報紙への記事掲載を依頼し、周知を図った（27回）。

キ 「介護・保育・福祉の就職相談会」への出展

介護・保育・福祉の就職相談会内に保育コーナーを設置し、就職説明会を実施した。

＜第1回＞ 期日、会場：7月30日、ホテルメトロポリタン盛岡本館

＜第2回＞ 期日、会場：11月19日、ツガワ未来館アピオ、

※いわて定住財団主催いわて就職マッチングフェアVと併催

ク 会議への参加

保育士・保育所支援センター実施福祉人材センター連絡会議

期日、会場：1月20日、オンライン開催

④ 介護等体験受入調整事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	18人	0人	18人
県外	2人	0人	2人
計	20人	0人	20人

イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	1校	0校	1校
県外	2校	0校	2校
計	3校	0校	3校

ウ 受け入れた施設数

13施設

(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [\[総務部\]](#)

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率3.0%とし、最終の修正総合利回りは3産バランス運用が年率-4.14%、パ

シップ運用が年率-0.15%となった。

また、財政の状況を示す令和4年度末現在の責任準備金率は、前年度から2.08ポイント減少して74.82%となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」、令和4年度の77%を2.18ポイント下回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

令和4年度末 加入状況		令和4年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入 施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
748	13,117 人	1,830	1,437	1,431	6

イ 資産の状況

(ア) 資産運用内訳

(単位：百万円)

		国内		外国		その他 資産	短期 資産	普通 預金	計
		債券	株式	債券	株式				
三 菱 U F J 信 託 銀 行	指定単独運用・ 包括信託	2,433 (36.1%)	924 (13.7%)	1,767 (26.2%)	790 (11.7%)	199 (2.9%)	633 (9.4%)	-	6,746 (100.0%)
	特定単独運用・ 包括信託	-	-	109	-	-	-	-	109
	指定単独運用・ 金銭信託以外 の金銭の信託	3,210 (44.7%)	1,469 (20.5%)	834 (11.6%)	1,665 (23.2%)	-	-	-	7,178 (100.0%)
岩手銀行ほか		-	-	-	-	-	-	-	2,082
合 計		5,643	2,393	2,710	2,455	199	633	2,082	16,115

(イ) 資産運用の増減内訳

(単位：百万円)

信託区分	前期末残高 (A)	期中追加額 (B)	期末時価残高 (C)	期中評価損益 (C)-(A+B)
指定単独運用・包括信託	7,066	0	6,746	-320
特定単独運用・包括信託	109	0	109	0
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	7,197	0	7,179	-18
合 計	14,372	0	14,034	-338

※期末時価残高に未収収益 17 百万円は含まない。

(ウ) 運用収益率 (信託報酬控除前)

(単位：百万円)

信託区分	実現利回り		総合利回り		修正総合利 回り
	実現損益	利回り	総合損益	利回り	
指定単独運用・包括信託	-181.9	-2.63%	-293.4	-4.23%	-4.14%
特定単独運用・包括信託	0.0	-0.06%	0.0	-0.06%	-0.06%
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	1.0	0.01%	-11.0	-0.16%	-0.15%

※信託報酬は 31.1 百万円

(エ) これまでの運用実績 (修正総合利回り・信託報酬控除前)

(年率)

年度	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
指定単独運用・包括信託	1.08%	0.12%	6.79%	2.19%	-4.14%
特定単独運用・包括信託	1.11%	1.47%	1.83%	1.00%	-0.06%
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	-	-	-	4.42%	-0.15%

ウ 財政状況

(単位：百万円)

年度	H30	R1	R2	R3	R4
責任準備金 A	19,523	19,759	20,232	20,956	21,584
積立金 B	13,948	14,098	15,192	16,116	16,150
差 額 B-A	△5,575	△5,661	△5,040	△4,840	△5,434
責任準備金率 B÷A	71.44%	71.35%	75.09%	76.90%	74.82%

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 34.9 百万円を含む。

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- ・会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ（平成 27 年 7 月 1 日から実施）

(イ) 給付事業の見直し

- ・慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止（平成 27 年 4 月 1 日から実施）
- ・健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止（平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止）

(ウ) 資産運用の経費の節減

- ・資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3%の達成と、運営事務費（人件費、事務諸費）の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- ・平成 27 年度から 35 年間

(オ) 定期検証の実施

- ・毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- ・計画実施後 3 年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を 0.1 ポイント以上下回った場合は、その翌年度の 7 月以降の会費は 1000 分の 57.5 から 1000 分の 60 に引上げ

② 福利厚生センター受託事業 [総務部]

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業PRの実施

未加入法人にオンラインによる本部との合同加入勧奨の実施と、いわて福祉だより（パートナー）に事業案内を掲載するなどしてPRを図った。

年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
会員数（人）	4,190	4,005	3,942	3,759	3,783

イ 福利厚生センター企画情報会議の実施

期日、会場：6 月 17 日（ふれあいランド岩手）、2 月（書面開催）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報委員 8 人、福利厚生推進員 5 人にて魅力ある会員交流事業の企画協議、新型コロナウイルス感染症行動制限撤廃後の会員交流事業について意見交換

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事 業 内 容	参加者数
手ぶらで日帰り温泉と旬の味覚を楽しむ in 八幡平ハイツ（8 月 28 日）	18 人

ホームでいわれてグルージャ盛岡を応援しよう！J2 リーグサッカー観戦（8月27日、9月10日）	44人
源泉かけ流し温泉と旬の味覚を楽しむ「ガーデンリゾート風の季 日帰り会食」（10月24日～1月31日）	85人
グルメ交流会 in 北上「ソウエルクラブ会員様特別コース！本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキ」（11月1日～1月31日）	64人
評判の温泉旅館で1泊2食満喫プラン※森の風鶯宿・佳松園・風の季（10月28日～12月8日）	68人
日本料理店「和の膳みや川」～ソウエルクラブ会員様限定「みや川のおせち」でよい年を迎えましょう!!（12月31日）	90人
アートホテル盛岡・和かな盛岡 食事券購入助成（10月1日～3月31日）	137人
県南ブランド牛購入助成 ※前沢牛オガタ・門崎熟成肉格之進・ささ忠（11月中旬～3月31日）	152人
新春企画「三陸四季湯彩ますと乃湯」～回数券 11 枚セット～ソウエルクラブ会員様限定購入助成（1月20日～1年間）	30人
おうちでグルメいわて岩泉『上あめや』のホルモン鍋食べ比べセット&焼き肉の得々セット（2月）	60人
おうちでグルメいわて宮古『かけあしの会』提供宮古市名物「瓶ドン」食べ比べ6種類セット（2月）	88人
おうちで楽しむお取り寄せグルメ（3月）	60人
岩手県内日帰り温泉入浴券購入助成事業（10月1日～3月31日）	154人
映画鑑賞割引事業（9月1日～1月31日）	581人
スキー&スノーボードリフト券購入助成事業（シーズン開始～終了）	170人

4 社会福祉事業経営の支援

（1）社会福祉事業経営の支援

① 障がい者就労・社会参加支援事業 [福祉経営支援部]

（ア）農林水産業者等と事業所の役務等の業務受注に向けたマッチング支援

a 事業所と農林水産業者等とのマッチング支援

（検討中、紹介のみ、不成立を除く）

種 別	成立案件数
農・水・林福連携	13 件
役務請負	163 件
商品開発・食品加工	8 件
商品取引・イベント	46 件
合計	230 件

※マッチング実事業所数 257 事業所

b 事業所の商品や役務の調査及びデータベース化

障がい者就労支援事業所を訪問し、保有する資機材等の設備、受注している作業等を調査
新規訪問事業所 50 事業所

c a の取組状況及びbで整理した情報の発信

企業等からの作業依頼があった際、把握した情報を基にマッチング又は受託可能な事業所の
情報提供を実施。

なお、情報発信については、岩手県と協議しながら発注先に必要な情報を網羅しているかを
確認しながら、発信する情報内容及び発信方法を検討していく。

(イ) 普及啓発及び販路拡大支援

- a 事業所製品の周知及び販売会の開催 4 回
9 月 15 日 福祉バンク大市 in 宮古・マリンコープ DORA
10 月 6 日 メフレ株式会社商品展示会・商談会
11 月 3 日 福祉フェア in 以心伝心！和の饗宴！
2 月 11 日 ふれあいコンサート～葵トリオ～
- b 農福連携マルシェ 2 回
7 月 30 日 農福マルシェ in チャレンジいわてアビリンピック 2022
9 月 4 日 農福マルシェ in ふれあいランド祭 2022

(ウ) 事業所向け研修会等

- a 農林水産業者等が障がいや障がい者を理解するための研修会の開催
開催回数 5 回、参加者 61 人
- b 事業所職員が農林水産業等を理解する施設職員向けセミナーの開催
開催回数 7 回、参加者 延べ 44 事業所 58 人
- c 特別支援学校等での出前講座・体験学習・説明会
実施回数 11 回、実施校数 11 校（分園 1 含む）、参加者数 244 人

(エ) その他、事業に必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証

(ア)～(ウ)を実施するために必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証を行うため、
次のとおり農福連携について、アンケートを実施。

実施期間：令和 5 年 2 月 14 日～3 月 24 日

調査対象、方法：過去に本会が関わって農作業を受注したことがある事業所 32 か所にメー
ル送信にて調査票を配布。

回答数：30 か所（回答率 93.8%）

結果：回答のない事業所を含め、実態として職員体制や利用者の高齢化を理由に農作業の受
託を終了した事業所がある。また、事業所により収入額に大きな差があり、連携先農家
の規模や経営状況による影響が大きいことがうかがえる。

(オ) 農福連携の課題把握、検証のための会議への参加及び訪問活動

下記のとおり検証会議や同行、打ち合わせを通じ課題を把握するとともに、本会コーディネー
ターによる助言、関係調整など、マッチングの新規成立及び継続支援を行った。

- ・農作業を受託した事業所と発注した農業者との検証会議 5 回
- ・事業所と農業者とのマッチングのための打ち合わせ 11 回
- ・事業所と農業者とのマッチングのための実習同行 7 回
- ・事業所及び農業者への不定期訪問（情報共有、関係調整、農業相談等） 21 回
- ・各地方振興局及び特別支援学校出前講座に係る農業者等との打ち合わせ 24 回

② 共同受注窓口事業 [福祉経営支援部]

取扱売上高 28,708,170 円

ア 令和 5 年 3 月末の加入事業所 101 事業所（重複契約あり）

販売契約 58 事業所

役務・請負契約 74 事業所

イ 商品販売売上総額（常設店舗売上） 13,220,996 円

主な販売先：イオンスーパーセンター（株）、イオン東北（株）、岩手県庁生活協同組合、岩手県産（株）、岩手空港ターミナルビル（株）、岩手県自動車整備商工組合、ゆこたんの森の他、県内外の官公庁、企業、福祉事業所等

ウ 日本セルフセンター福祉施設向け商品販売売上総額 727,200 円

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 15,120,779 円

（ア）役務・請負委託業務の受注

官公庁、本会種別協議会を中心に、147 業務 13,142,046 円を受注

（イ）農業に関する作業（農福連携）業務の受注

りんご栽培、野菜の水耕栽培等に係る業務を受注 8 業務 1,011,612 円

（ウ）企業からの継続的な役務・請負業務の受注

通年で 5 業務を受注 受注額 115,000 円

オ 商品取引（県内外の企業、福祉事業所との取引含む）・イベントでの出店販売

35 件 売上 852,121 円

カ ホームページを活用した加入事業所の活動紹介及び商品情報の発信

いわてはーとふる図鑑セレクトショップホームページ（共同受注センターホームページ）に会員事業所製品情報を掲載（ギフト商品のみ本会で受注）

食品 115 アイテム

飲料 63 アイテム

雑貨 157 アイテム

ギフト商品 18 アイテム

（２）適正なサービス評価の実施

① 福祉サービス第三者評価事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

10 事業所

高齢者施設 0 か所、障がい児（者）施設 7 か所、社会的養護関係施設 2 か所、保育所 1 か所、救護施設 0 か所

イ 会議の開催

事前合議、合議、決定委員会 各 10 回開催

ウ 研修会の開催

（ア）第三者評価調査者養成研修会（岩手県知事承認研修）

期日、会場、参加者：1 月 26～27 日、ふれあいランド岩手、0 人

内容：新型コロナの影響で施設訪問による実習の代わりに、模擬ヒアリングや演習を実施予定していたが申込なし。

（イ）福祉施設の自己評価・第三者評価研修会

期日、会場、参加者：1 月 26 日、27 日、ふれあいランド岩手、12 事業所、15 人

（ウ）評価調査者スキルアップ研修会（評価調査者の会との共催研修）

期日、会場、参加者：6 月 6 日、10 月 4 日、両日ともふれあいランド岩手、23 人及び 19 人

（エ）社会的養護等施設評価調査者の養成研修

養成研修：2 月（ライブ配信）、1 人

（オ）評価調査者指導者の養成研修

5 多様な組織等との連携協働

（1）種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉増進

① 市町村社会福祉協議会部会事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 幹事会

＜第1回＞期日、会場：4月22日、ふれあいランド岩手

＜第2回＞期日、会場：2月20日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

イ 監査

期日、会場：5月17日、ふれあいランド岩手

ウ 理事会

＜第1回＞期日、会場：5月13日、ふれあいランド岩手

＜第2回＞期日、会場：3月2日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

エ 正副会長会議

期日、会場：7月21日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

オ 総会

期日、会場：3月17日、ふれあいランド岩手

カ 調査事業の実施

市町村社会福祉協議会役員名簿、社協の概要、市町村社協福祉サービス等実施状況調査報告書

※ 懇談会及び研究会の開催、研修の実施等については2ページから4ページを参照

② 種別協議会活動推進事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 社会福祉法人経営者協議会

（ア）会議の開催

a 総会

期日：3月、書面決議

b 幹事会

期日、会場：5月23日、ふれあいランド岩手

2月21日、オンライン開催

c 正副会長会議

期日、会場：2月7日、ふれあいランド岩手

d 地域公益活動専門部会会議

期日、会場：5月23日、ふれあいランド岩手

e I W A T E・あんしんサポート事業連絡会議

新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。

（イ）研修会の開催

a 中長期経営計画策定セミナー

期日、会場、参加者：1月19日、ふれあいランド岩手、34人

b 地域福祉推進トップセミナー

（岩手県社協市町村社会福祉協議会部会との共催）

期日、会場、参加者：3月10日、ホテルメトロポリタン盛岡、117人

(参集 35 人、オンライン 82 人)

- c 都道府県経営協セミナー（前期）
（全国経営協との共催）
期日、会場、参加者：8 月 23 日、ホテルメトロポリタン盛岡、37 人
 - d 都道府県経営協セミナー（後期）
（全国経営協との共催）
期日、会場、参加者：1 月 25 日、ホテルメトロポリタン盛岡、27 人
 - e あんしんサポート相談員養成研修
（第 1 回）
期日、会場、参加者：6 月 28 日、オンライン開催、36 人
（第 2 回）
期日、会場、参加者：1 月 30 日、ふれあいランド岩手、11 人
 - f 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）
期日、会場、参加者：12 月 22 日、マリオス、22 人
- (ウ) IWATE 子ども夢基金事業の実施（青年会事業：岩手県民共済の助成により実施）
- a IWATE 子ども夢基金事業
内容、助成人数：生活困窮世帯の子どもが対象、助成 6 人（応募 6 人）
- (エ) 関係機関団体との連携
- a 北海道・東北ブロック協議会会長会議
期日：4 月、6 月、7 月、8 月、10 月、11 月、12 月、2 月
 - b 全国経営協ブロック会議（北海道・東北ブロック）
期日、会場：4 月 11 日、集合・オンライン開催
 - c 第 41 回全国社会福祉法人経営者大会（青森県大会）
期日、会場：9 月 15 日・16 日、青森市
- (オ) その他
- 会長表彰 13 法人 13 人を表彰

イ 高齢者福祉協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会（書面決議）
期日：3 月
- b 幹事会
期日：5 月 27 日（オンライン開催）、7 月 19 日（オンライン開催）、2 月 22 日（岩手県水産会館）
- c 正副会長会議
期日、会場：7 月 15 日（岩手県水産会館）、9 月 14 日（岩手県水産会館）、1 月 12 日（オンライン開催）、2 月 13 日（ふれあいランド岩手）

(イ) 研修会の開催

- a 令和 4 年度東北ブロック老人福祉施設研究会
新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。
- b 令和 4 年度いわて福祉施設職員研修会（オンライン開催）
期日、参加者：12 月 16 日、オンライン開催、62 人
- c 令和 4 年度岩手介護施設等合同入職式

新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。

(ウ) 介護の質の向上に対する支援

- a 介護員養成研修事業費助成事業 2施設 20万円助成
- b 介護助手養成研修事業費助成事業 2施設 73,830円助成

(エ) 委員会の開催

- a 制度政策委員会
期日、会場：7月19日（オンライン開催）
- b 調査研究委員会
新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。
- c 総務委員会
新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。
- d 21世紀委員会
期日：9月12日、オンライン開催、10月31日、オンライン開催

(オ) 部会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により未開催。

(カ) 関係機関・団体との連携

岩手県保健福祉部長寿社会課との情報・意見交換会
期日、会場：9月14日、岩手県水産会館

(キ) 新型コロナウイルス感染症への対応

クラスター発生5施設へ衛生用品の提供。

(ク) 「高齢者介護施設及び障がい者支援施設における原油価格・物価高騰への対応に係る緊急要望について」要望書を県へ提出（障がい協と合同で実施）

期日、会場：9月14日、岩手県庁

ウ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：3月 書面開催
- b 幹事会
期日、会場：5月26日、オンライン
8月10日、岩手県公会堂
9月28日、都南文化会館＋オンライン
2月10日、アイーナ＋オンライン
- c 正副会長会議
期日、会場：7月15日、ふれあいランド岩手
11月14日、アイーナ

(イ) 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者福祉協議会との懇談会

期日、会場：8月10日、岩手県公会堂

内容：意見交換

岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会提出意見交換テーマ
障がい児支援に関すること
グループホームに関すること
高齢障がい者支援に関すること

福祉人材の確保・育成に関すること

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課提出意見交換テーマについて

新型コロナウイルス感染症への対応について

意見・要望書提出

障がい福祉サービスの充実に向けた会員事業所・施設からの意見・要望の提出

(ウ)「高齢者介護施設及び障がい者支援施設における原油価格・物価高騰への対応に係る緊急要望について」要望書を県へ提出（高齢協と合同で実施）

期日、会場：9月14日、岩手県庁

(エ) 研修会の開催

a 虐待防止・権利擁護研修会

期日、会場、参加者：5月17日、オンライン、211人

内容：講義「障がい者施設従事者等による障がい者虐待の防止について～組織内における虐待防止の仕組みづくり～」

b 精神障がい者支援研修会の開催

期日、会場、参加者：2月6日、ふれあいランド岩手、24人

c サービス管理責任者フォローアップ研修会

サービス管理責任者の法定研修が充実してきているため、開催取り止め

d グループホームの世話人を対象とした研修会の開催

中央ブロック

期日、会場、参加者：11月2日、ビッグルーフ滝沢、130人

県北ブロック

期日、会場、参加者：1月24日、二戸地区合同庁舎、20人

e 役職員研修会の開催

期日、会場、参加者：9月13日、オンライン、54人

内容：講演「どうすれば信頼される福祉リーダーになれるか」

f 課題対応研修

期日、会場、参加者：11月14日、アイーナ、84人

内容：講義「インボイス制度の概要と事前準備」

(エ) 委員会、部会の開催

a 研修委員会

期日、会場：6月17日、オンライン

2月10日、ふれあいランド岩手

b 調査研究委員会

期日、会場：7月7日、ふれあいランド岩手

9月28日、都南文化会館＋オンライン（小委員会）

12月2日、ふれあいランド岩手＋オンライン

c 社会就労部会

・社会就労部会会員事業所製品販売会（ふれあいランド祭ふれあいマルシェコーナー）

期日、会場：9月1日、ふれあいランド岩手

・働く仲間の集い

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 調査事業

a 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定実態調査報告書の発行

- b 高齢協・障がい協調査 原油価格・物価高騰等に係る緊急アンケートの実施

エ 保育協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会

期日：3月（書面議決）

- b 常任委員会

期日、会場：5月2日～12日（書面開催）、5月26日、11月8日、3月6日、ふれあいランド岩手ほか

- c 正副会長会議

期日、会場：4月22日、10月25日、オンライン

(イ) 研修会の開催

- a 岩手県保育研究大会

期日、会場、参加者：6月7日、8日、10日 オンライン（ふれあいランド岩手配信）

参集延べ372施設757人視聴

内容：分科会発表、ブロック大会代表発表者選考会

- b 実技講習会

初心者向け Zoom 使い方講座としていたが、会員施設におけるニーズが少ないと考えられるため実施を見送った。

- c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修（花巻ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）

期日：6月27日、7月25日、8月30日

会場、参加者：岩手県立総合教育センター、ホテルグランシェール花巻、修了50人

- d 「令和5年度保育研究大会」研究テーマ研修会

期日、会場、参加者：12月2日、ふれあいランド岩手及びオンライン

参集3施設7人、オンライン開催59施設121人

内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表

- e 岩手県保育指導者セミナー

総会と併催で行っているが、総会の書面開催に伴い実施を見送った。

(ウ) 部会、委員会の開催

- a 保育所長部会

期日、会場：2月14日、参集及びオンライン

内容：講演「これからの保護者支援に向けて～ソーシャルワークの視点で考える～」

参加者：72施設105人

- b 保育者部会

期日、会場：2月20日、オンライン

内容：講演「乳幼児期からの豊かな保育を考える～子どもと共に育ちあう保育者を目指して～」

参加者：91施設202人

(エ) 他団体等との連携（北海道・東北ブロック保育協議会）

- a 研修会

公立保育所等トップセミナー、次世代リーダー研修会、保育士会リーダーセミナー

※保育指導者セミナーは新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

- b 北海道・東北ブロック保育研究大会
期日、会場：7月、動画審査
内容：全国保育研究大会に推薦する研究発表の選考会（動画審査）
- c 保育協議会会長会議
期日、会場：7月4日、9月30日、3月16日、オンライン開催
- d 保育士会長会議
期日、会場：10月5日、オンライン開催
- (オ) その他
 - a 岩手県保育三団体との懇談会
期日、会場：3月28日、エスポワールいわて
内容：第一回幼児教育・保育三団体懇談会
 - b 岩手県教育委員会（いわて幼児教育センター）主催事業への研究発表者の推薦

オ 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

- a 幹事会
期日、会場：5月12日、12月19日、3月9日
ふれあいランド岩手（オンライン併用）、アイーナ、都南公民館
- b 専門委員会
期日、会場：5月20日、7月13日
ふれあいランド岩手（オンライン併用）

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：5月12日、ふれあいランド岩手（第1回幹事会開催時に実施）

(エ) 研修会の開催

- a 児童福祉施設職員研修会
期日、会場、参加者：2月25日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
参集6人、オンライン開催 12人
内容：乳幼児期からの包括的性教育についての講義
- b 施設間交流研修会
期日、会場、参加者：3月20日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
参集6人、オンライン開催 14人
内容：子どものアドボカシーについての講義、情報交換

※ 児童福祉のしごと出前講座は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、2施設（清光学園、桐の苑）に対し、計52,440円を助成した。

(カ) その他

- a 令和5年度予算要望の実施
期日、会場、出席者：8月23日、岩手県民会館、県子ども子育て支援室長ほか2人、児童協会会長ほか3人
- b 原油価格・物価高騰等に関する調査の実施

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月13日、盛岡市中央卸売市場

b 幹事会

期日、会場：5月19日、ふれあいランド岩手

2月15日、アイーナ

c 正副会長会議

期日、会場：1月18日、ふれあいランド岩手

d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会

期日、会場：5月19日、ふれあいランド岩手

9月16日、ふれあいランド岩手

内容：①委員長・副委員長の選任

②令和4年度の事業推進等について

・会員施設現況調査について

・児童厚生二級指導員資格取得に係る認定科目以外の研修カリキュラムについて

(イ) 研修会の開催

a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会

<第1回> 期日、会場：6月23日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「児童館論Ⅰ」、40人

児童厚生二級認定科目「児童館論Ⅱ」、35人

<第2回> 期日、会場：12月16日、アイーナ

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「集団援助活動」、27人

b 児童館職員等研修会

期日、会場：11月14日、盛岡市中央卸売市場

内容、参加者：

講義「発達障がい児等配慮を要する児童への支援～学童期の特別支援～」、28人

演習「事例検討～発達障がい児等配慮を要する児童への具体的支援～」、24人

c 実技研修会

期日、会場：10月6日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「表現活動」、46人

児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、40人

(ウ) 助成事業の実施

各ブロック協議会活動助成

助成金額：68,000円（10ブロックへ1,000円×68施設数を助成）

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和4年度活動休止

(オ) 県との意見交換会

令和4年度は、県子ども子育て支援室との意見交換等の実施なし

(カ) 調査活動

a 第1回・第2回専門委員会にて調査目的・調査期間・設問を検討し、令和4年10月に、「令和4年度 岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会 会員施設現況調査」を実施。

b 会員施設から得た回答のうち、施設の基本情報を取りまとめた「岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会 会員施設台帳（2022版）及び調査回答全般を集計した「令和4年度 岩手県児

童館・放課後児童クラブ協議会会員施設現況調査 集計結果」を作成。

(2) 多様な組織等との連携協働の推進

① 事務受託団体支援事業

[総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

ア 公益財団法人岩手県福祉基金

令和4年度事業計画に基づき34件、7,317千円の助成を行ったほか、企業等から13件1,279千円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は1,142,207千円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額（千円）
1－① 社会福祉団体活動に対する助成	31 件	6,074
1－② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	1 件	643
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0 件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	1 件	300
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	1 件	300
計	34 件	7,317

イ 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

a 理事会

＜第1回＞ 期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手

＜第2回＞ 期日、会場：3月17日、ふれあいランド岩手

b 監査

期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手

c 役員会

＜第1回＞ 期日、会場：4月12日 ふれあいランド岩手

＜第2回＞ 期日、会場：7月5日 ふれあいランド岩手

＜第3回＞ 期日、会場：10月6日 ふれあいランド岩手

＜第4回＞ 期日、会場：2月16日 ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県里親大会の開催 ※新型コロナウイルス対策により大会中止、表彰式のみ実施

期日、会場、参加者：10月30日、ふれあいランド岩手、77人

内容：表彰式典、講演、体験発表

(ウ) 未委託里親交流研修会

期日、会場、参加者：9月18日、ふれあいランド岩手、12人

内容：施設紹介「児童養護施設青雲荘」、説明「子どもを迎える準備～Welcome ノート」

(エ) 里親会交流研修会

期日、会場、参加者：12月3日、ホテルメトロポリタン盛岡、52人

内容：講義「自分の心を元気にしよう～自分自身のリフレッシュ方法」ほか

(オ) 広報紙の発行

「里親いわて第47号」の発行（300部）（3月）

(オ) 表彰の実施

・全国里親大会表彰（1組2人）

・東北地区里親会連絡協議会表彰（6組9人）

- ・岩手県社会福祉大会長表彰（2組4人）
- ・岩手県知事感謝状（9組15人）
- ・岩手県里親会長表彰（5組10人）

（カ）親族里親等支援事業（県委託事業）

- a 里親サロン
期日、会場：5月～12月（全9回）、宮古市総合福祉センターほか
支援会員派遣人数：46人
延べ参加者数：26組31人
- b 3地区合同交流研修会
期日、会場、参加者：9月4日、釜石PIT（釜石市）、21人
内容：「自分の心を元気に使用～自分自身のリフレッシュ方法」
- c 地区交流会
期日、会場：9月～12月（各地区1回）、魚河岸テラス（釜石市）ほか
支援会員派遣人数：14人
延べ参加者数：19人

（キ）里親制度普及啓発キャンペーン

期日：10月中
内容：（新型コロナウイルス対策によりチラシ配布を中止）各支部長を中心に、県内商業施設にチラシを配架。

ウ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

（ア）会議の開催

- a 総会（書面議決）
期日：3月
- b 理事会
期日、会場：6月14日、2月28日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催
- c 監査
期日、会場：6月14日、ふれあいランド岩手
- d 研修委員会
期日、会場：7月29日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

（イ）岩手県地域包括・在宅介護支援センターフォーラムの開催

期日、会場、参加者：11月4日、ふれあいランド岩手、参集25人及びオンライン49人
内容：行政説明「重層的支援体制整備事業について」

実践報告「重層的支援体制整備事業の進め方と地域包括支援センターに期待するもの」

講義「地域包括支援センターと重層的支援体制整備事業の関わりについて」、質疑応答

情報提供「認知症の人と家族の一体的プログラム」

（エ）その他

- a 広報活動
 - ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
 - ・広報発行「広報つながり vol.27」 高齢協合同発行（PDFによるメール配信）
- b 地区協議会活動の推進
4つの地区協議会の活動に対し活動費148,000円を交付

エ 岩手県知的障害者福祉協会

（ア）会議の開催（岩手県知的障害児者生活サポート協会と併催）

- a 総会
期日、会場：4月26日（アイーナ）
- b 監査
期日、会場：6月9日（ふれあいランド岩手）
- c 理事会
期日、会場：4月19日（オンライン開催）、4月26日（アイーナ）、6月9日（ふれあいランド岩手）、3月8日（岩手県民会館）
- d 正副会長会議
期日、会場：6月9日（オンライン開催）、1月31日（ふれあいランド岩手）

（イ）研修・指導

- a 新任職員研修会
期日、会場、参加者：9月30日、アイーナ、40人
内容：講義「知的障がい者支援の現場で働くこと」
講話「新任職員研修から今日までの日々を振り返って」
グループワーク①「グループメンバーを知ろう」②「どうやって対応する？」
- b 中堅研修会
期日、会場、参加者：11月22日、アートホテル盛岡、40人
内容：講義「生活を豊かにする意思決定支援と、中堅職員に求められる役割とは」
- c 岩手県知的障害者施設職員研修大会
期日、会場、参加者：12月6日、ふれあいランド岩手、42人
内容 表彰式：会長表彰（12施設15人）
講演「相模原事件を乗り越えるために一意思決定支援の取組」
大会宣言採択
- d 生産活動・就労支援部会研修（障がい協、県社協共同受注センターと共催）
期日、会場：11月15日、アイーナ、84人
内容 講義「インボイス制度の概要と事前準備」
- e 地域支援部会研修会〔再掲〕
期日、会場：12月15日、ふれあいランド岩手、10人
内容 実践報告「新型コロナウイルス集団発生時の対応と課題について」
- f 児童発達支援部会研修〔再掲〕
期日、会場：12月1日～14日、オンデマンド配信
※全国児童発達支援施設運営協議会岩手大会として開催
- g スポーツチャレンジ企画「利用者・会員施設対抗 輪投げチャレンジ」
期日、会場、参加者：8月10日 施設数22、参加者数535人

（ウ）部会等の開催

- a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議
期日、会場、参加者：4月26日、アイーナ、部会17人、支援スタッフ委員18人
内容：課題等の共有、今後の活動について協議
- b 各部会の開催
○児童発達支援部会
※全国児童発達支援施設運営協議会岩手大会（オンライン）
・実行委員会及び打合せ
期日・6月27日、7月6日、8月4日、8月24日（全てオンライン）
・オンデマンド配信

配信期間：12月1日～14日

参加事業所数：188（会員事業所171・一般事業所17）

○生産活動・就労支援部会

- ・インボイス制度研修会（障がい協、県社協共同受注センターと共催）※再掲
期日・会場・参加者：11月15日／アイーナ 84人
- ・「第10回全国生産活動・就労支援部会職員研修会 in 北陸地区大会」
（1月26日～27日）における「全国障がい福祉物産展」メタバース出店への
助成 助成実績：4事業所 130,000円

○地域支援部会

- ・共同生活援助事業所（地域支援部会所属事業所含む）を対象としたアンケートの実施
アンケート実施期間 11月8日～15日／回答数 15
- ・地域支援部会の開催
期日・会場・参加者：12月15日／ふれあいランド岩手 10人
内容：実践報告「新型コロナウイルス集団発生時の対応と課題について」※再掲
アンケート結果の報告及び参加施設との情報交換

○組織力強化（＝新規会員獲得）に向けた活動

- ・R5.1.31 会員施設数 95 施設（参考：令和4年3月31日現在97施設）
- ・ホームページの活用を含めた情報の発信

（エ）委員会活動

a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議〔再掲〕

期日・会場：4月26日（アイーナ）

b 研修・事業・広報委員会

期日・会場：7月4日（ふれあいランド岩手＋オンライン）、8月1日（ふれあいランド岩手）、1月31日（ふれあいランド岩手）

c 支援スタッフ委員会（事業所訪問を兼ねて開催）

期日・会場：7月4日（ふれあいランド岩手＋オンライン）、8月1日（ヒソプ工房）、9月5日（地域生活支援センターしおん）、11月9日（幸呼来 Japan ほか）、1月30日（ふれあいランド岩手）

- ・「支援スタッフ委員のワクワク職場放浪記」のホームページ掲載

支援スタッフ委員会の際に施設見学を行い、障がい福祉の仕事の魅力発信の一環として、新企画を開始 紹介事業所：ヒソプ工房、ルンビニー苑、幸呼来 Japan

d 特別委員会

「全国児童発達支援施設運営協議会岩手大会」にかかる実行委員会〔再掲〕

- ・期日・会場：7月6日（オンライン）、8月4日（オンライン）

（オ）他団体等の連携

a 関係団体への要望、提言

- ・「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直し」に向けた意見提出（令和4年4月）〔鎌田会長・山本政策委員長〕
- ・「令和4年度障がい者関係団体との意見交換会」（県障がい保健福祉課主催）
意見交換会への出席：令和4年9月22日／ふれあいランド岩手〔鎌田会長〕

b 日本知的障害者福祉協会との連携・協力

- ・全国児童発達支援施設運営協議会岩手県大会の開催〔再掲〕

オンデマンド配信期間：令和4年12月1日～14日

- ・「第9回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」への協力
周知先：県内小中学校453校 応募数：102作品（小学生29・中学生73）
日本協会への推薦数：小学生1作品、中学生5作品
- ・「令和4年度における新型コロナウイルス感染症による見舞金」申請・受領
申請事業所数 52事業所

c 福祉の仕事出前講座

令和4年7月19日／盛岡圏域内高等学校〔鷹嘴副会長〕

対象：高等学校福祉系列コース3年生 参加者：17人

オ 東北地区社会就労センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場、6月22日（オンライン）

b 監査

期日、会場：6月1日（オンライン）

c 役員会

期日、会場：6月1日、12月8日、3月15日（全てオンライン）

(イ) 研修会等の開催

a 施設長連絡会議

第1回 期日、会場、参加者：9月8日、オンライン開催、27人

内容：情勢報告「総合支援法3年の見直し報告書にみる今後の障害福祉の動向・施策について」

第2回 期日、会場、参加者：2月8日・9日、ホテルニューカリーナ、34人

内容：講義「インボイス制度の概要と障がい福祉サービス事業所への影響」

講演「工賃向上を目指して 徳島県の取り組み」（Zoom）

b 職員研修会

- ・ 研修委員会

期日、会場：8月25日（オンライン）

- ・ 職員研修会

福島県で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

カ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月5日、ふれあいランド岩手、23人（委任状186通）

b 正副会長会議

<第1回> 期日、会場：5月23日、オンライン開催

<第2回> 期日、会場：9月30日、オンライン開催

<第3回> 期日、会場：1月23日、オンライン開催

<第4回> 期日、会場：3月17日、オンライン開催

c 理事会

<第1回> 期日、会場：6月5日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

<第2回> 期日、会場：6月5日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

<第3回> 期日、会場：10月26日、オンライン開催

<第4回> 期日、会場：2月12日、花巻市なはんプラザ（オンライン併用）

＜第5回＞ 期日、会場：3月28日、オンライン開催

d 監査

期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：6月5日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、22人

b 介護福祉士実習指導者講習会

期日、会場、参加者：10月17日、18日、11月7日、8日、ふれあいランド岩手、19人

c 介護福祉士国家試験対策全国一斉擬試験

期日、会場、参加者：11月19日、35人

盛岡（ふれあいランド岩手 14人）

二戸（二戸市シビックセンター 6人）

大船渡（大船渡市Y・Sセンター 15人）

d 北東北3県介護福祉士会合同ファーストステップ研修

期日、会場、参加者：8月20日、21日、9月10日、11日、10月1日、2日、11月5日、6日、
1月7日、8日、1月21日、2月4日、5日、2月25日、3月4日
[全15科目]

オンライン開催、12人（うち岩手県3人）

e 介護職種の技能実習指導員講習会

期日、会場、参加者：1月19日、ふれあいランド岩手、16人

f 現任者・災害ボランティア研修会

期日、会場、参加者：2月12日、花巻市なはんプラザ（オンライン併用）、42人

g 「介護の日フェスタ」の開催

期日、会場、来場者：11月5日、イオンモール盛岡南、約400人

内容：介護相談・おしごと相談、福祉用具・介護機器展示、高齢者疑似体験、
クリアファイル配布、わなげ、介助犬

キ 岩手県介護支援専門員協会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月19日、ふれあいランド岩手、127人、委任状1,247通
内容：令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算、役員選任

b 監査

期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手

c 理事会

＜第1回＞ 期日、会場：6月19日、ふれあいランド岩手

＜第2回＞ 期日、会場：3月26日、アートホテル盛岡（オンライン併用）

d 役員会

＜第1回＞ 期日、会場：4月21日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

＜第2回＞ 期日、会場：2月6日、オンライン開催

e 正副会長会議

＜第1回＞ 期日、会場：4月15日、ふれあいランド岩手

＜第2回＞ 期日、会場：9月29日、オンライン開催

＜第3回＞ 期日、会場：1月16日、ふれあいランド岩手

- ＜第4回＞ 期日、会場：3月12日、オンライン開催
- (イ) 研修会の実施
- a 定例研修会
- ＜第1回＞ 期日、会場、参加者：6月19日、ふれあいランド岩手(オンライン併用)、260人
- ＜第2回＞ 期日、会場、参加者：12月11日、渋民公民館(姫神ホール)、25人
- ＜第3回＞ 期日、会場、参加者：1月29日、オンライン開催、20人
- ＜第4回＞ 期日、会場、参加者：3月26日、アートホテル盛岡、123人
- b 在宅医療人材育成研修事業(3地区)
- 期日、会場、参加者：
- (両磐地区) 11月20日、ベリーノホテル一関、40人
- (北上地区) 1月25日、オンライン開催、30人
- (宮古地区) 2月5日、宮古市総合福祉センター(オンライン併用)、65人
- c 在宅栄養ステップアップ研修会(岩手県食形態分類標準化推進委員会主催)
- 期日、会場、参加者：1月27日、アイーナ、8人
- ク 岩手県ホームヘルパー協議会
- (ア) 会務運営
- a 総会
- 方法、結果：書面議決、提出43人(賛成43人)
- b 監査
- 期日、会場：4月25日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
- ＜第1回＞ 期日、会場：6月23日、オンライン開催
- ＜第2回＞ 期日、会場：3月15日、オンライン開催
- (イ) 研修会の実施
- a ホームヘルプセミナー
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- b 現任者研修会
- ＜第1回＞ 期日、方法、参加者：7月21日～8月20日、動画配信、16事業所
- テーマ：①「感情労働」によるストレスとの向き合い方
- ②安心・安全に生き生きと働くことができる職場とは
- ＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月1日、ふれあいランド岩手、39人
- テーマ：①サービス提供責任者の役割と魅力
- ②認知症の人の理解と対応 ～チームで行う認知症ケア～

6 指定管理施設の管理運営

(1) ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

① 施設の利用状況

令和4年度の施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、170,745人と年間目標を下回った。平成6年の開館からの累計利用者数は5,933,105人となった。

ア 施設区分別利用状況

(単位：人)

区 分	文化施設	スポーツ施設	合 計
本年度	31,752	138,993	170,745

開館からの累計	1,543,350	4,389,755	5,933,105
---------	-----------	-----------	-----------

イ 利用者区分別利用状況 (単位：人)

区 分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	13,998	2,852	80,780	23,731	44,894	672	3,818
累 計	537,636	92,745	1,640,960	1,017,590	2,413,886	52,461	177,827

② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ&水中歩行教室」など 11 のスポーツ教室を延べ 235 回開催し、3,530 人が参加した。

イ 文化教室

障がい者や高齢者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など 5 の文化教室を延べ 24 回開催し、284 人が参加した。

③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体などの協力を得て、各種イベントを開催した。

イベント名	開催日	参加者数
ちびっこキャンペーン 2022	4 月 29 日～8 月 30 日	1,384 人
ふれあいサマー体験 2022	7 月 9 日～8 月 16 日	641 人
ふれあいランド祭 2022	9 月 22 日	5,595 人
健康測定会	10 月 10 日	29 人
ふれあいスポーツフォーラム 2022	12 月 4 日	52 人
さわやか交流水泳記録会	11 月 12 日	29 人
さわやか交流卓球大会	2 月 26 日	50 人
体組成成分測定会	3 月 6 日	113 人

④ 各種支援事業等の実施状況

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室及び文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

・いわてスポーツネットワーク事業	延べ 2 回	参加者 11 人
・リフレッシュ教室 来館指導	延べ 7 回	参加者 66 人
訪問指導	延べ 25 回	参加者 777 人
・スポーツ支援事業 来館指導	延べ 87 回	参加者 1,221 人
訪問指導	延べ 20 回	参加者 381 人
・サポートタイム 個別指導	延べ 617 回	参加者 634 人
・福祉見学・福祉体験等支援事業	4 回	参加者 93 人

⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(10 回開催、延べ 81 人参加)や「ワンポイント手話教室」(2 回開催、延べ 27 人参加)を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

⑥ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者等のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、施設利用に関するアンケート調査を実施した。

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化 [総務部]

① 自主財源の確保

企業、団体及び病院（1,210 か所）に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績：333 件 3,664,000 円（前年度 297 件 3,310,000 円）

② 経費の削減

見積み合わせの徹底などによる事務諸費（消耗品費、コピー機使用料、光熱水費、車輛燃料費、通信運搬費、P C 等事務機器賃借料等）の削減に努めた。

・事務諸費総額 39,979 千円（対前年度 765 千円 2%減）

(2) 組織強化のための取組の推進 [総務部]

① 会計監査人の設置

会計監査人を設置して期中監査を受けるなどしてガバナンスの強化に努めた。

② 税理士等への業務委託

税理士や社会保険労務士等の専門家への業務委託を検討するとともに、インボイスへの対応準備では適宜相談を行った。

③ 職員の育成

職員研修計画に基づき職員研修を実施し職員の資質向上を図った。

（新人職員研修：2 人 中堅職員研修：1 人 全社協セミナー：8 人 インボイス研修：4 人
アンガーマネジメント研修：5 人）

④ 会員の拡大

新施設等から会員加入があった。（新規加入 19 施設、法人）

8 会務の運営

(1) 理事会の開催 [総務部]

＜第 1 回＞ 開催日：6 月 7 日

議 案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について

令和 3 年度事業報告について

令和 3 年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について

評議員選任・解任委員会委員の選任について（補充選任）

評議員候補者の推薦について（補充選任）

評議員選任・解任委員会の招集について
理事候補者の推薦について（補充選任）
評議員会の招集について

＜第2回＞ 開催日：7月11日（決議の省略）

議案：専務理事の選定について
会計監査人の報酬について
提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日

＜第3回＞ 開催日：3月16日

議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
令和5年度事業計画について
令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
第三者委員の選任について
評議員候補者の推薦について（補充選任）
評議員選任・解任委員会の招集について
理事候補者の推薦について（補充選任）
評議員会の招集について

（2）評議員会の開催 [総務部]

＜第1回＞ 開催日：6月27日

議案：令和3年度事業報告について
令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
理事の選任について（補充選任）

＜第2回＞ 開催日：3月28日

議案：令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
令和5年度事業計画について
令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
理事の選任について（補充選任）

（3）監事等による監査の実施 [総務部]

① 監事監査及び出納調査

＜第1回＞ 実施日：6月1日

内 容：令和3年度第4四半期の出納調査及び決算監査
各会計における資金の管理運用の状況
令和3年度事業について
令和3年度収支決算について

＜第2回＞ 実施日：10月21日

内 容：第1四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

＜第3回＞ 実施日：12月1日

内 容：第2四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

＜第4回＞ 実施日：3月3日

内 容：第3四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

② 会計監査人による監査

＜決算監査＞ 実施日：5月23～25日

＜期中監査＞ 実施日：8月4・5日、10月24・25日、2月27・28日、3月20・22日

③ 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施

監査項目： ・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

実施日：5月26日、10月11日、11月18日、2月24日

9 岩手県社会福祉大会

岩手県社会福祉大会の開催 [\[地域福祉企画部\]](#)

期日、会場、参加者：10月28日、岩手県民会館大ホール、約600人

被表彰者数：428人、19団体、2組、1地区

岩手県知事表彰（32人、3団体）

岩手県知事感謝状（10人）

岩手県社会福祉大会長表彰（214人、16団体、2組）

岩手県社会福祉大会長褒賞（42人）

岩手県民生児童委員協議会会長表彰（130人、1地区）

トークセッション（東日本大震災津波から11年～今ふるさとの地と人を想う～）

語り手

釜石市鶴住居地区民生児童委員協議会

主任児童委員 市川 淳子 氏

大船渡市社会福祉協議会 主任 今野 智子 氏

岩手県社会福祉協議会 元事務局長 右京 昌久

コメンテーター 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 山崎 美貴子 氏

コーディネーター 淑徳大学総合福祉学部 准教授 山下 興一郎 氏